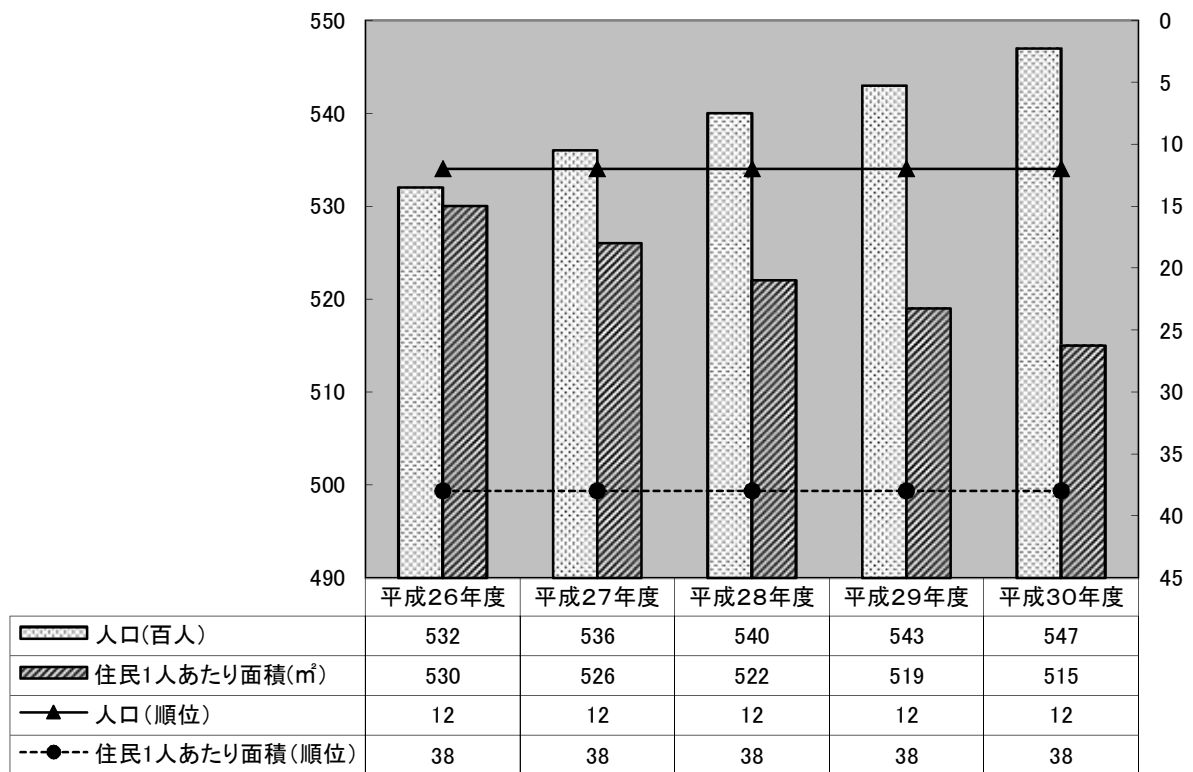


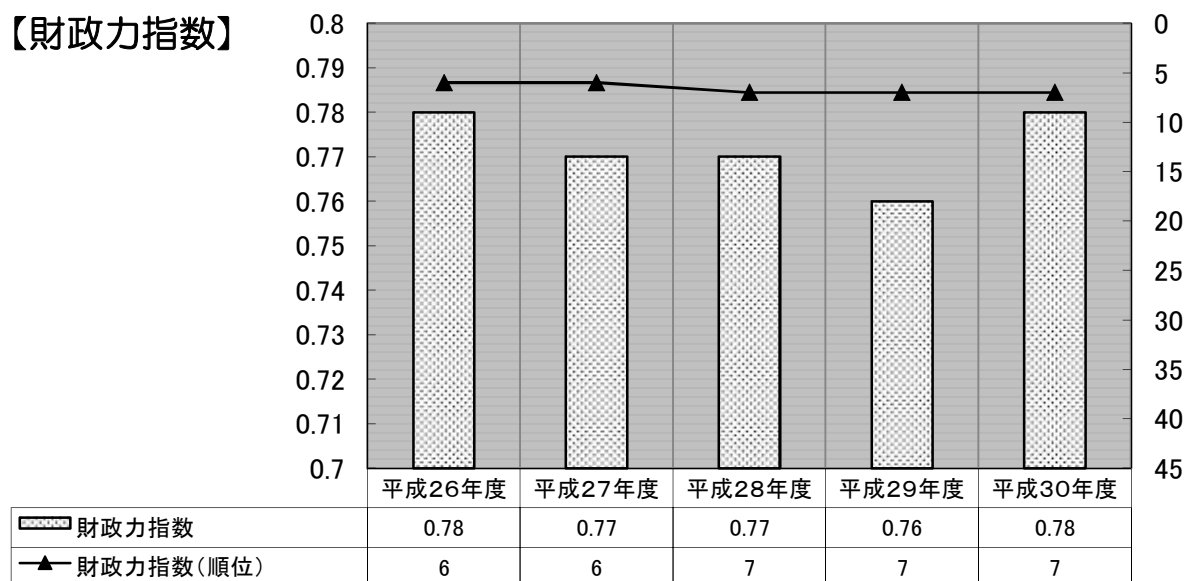
○瑞穂市の人口



【分析】瑞穂市の人口は合併以降年々増加しており、今後しばらくは増加が見込まれます。平成30年度の人口については、前年度比で300人増加しています。

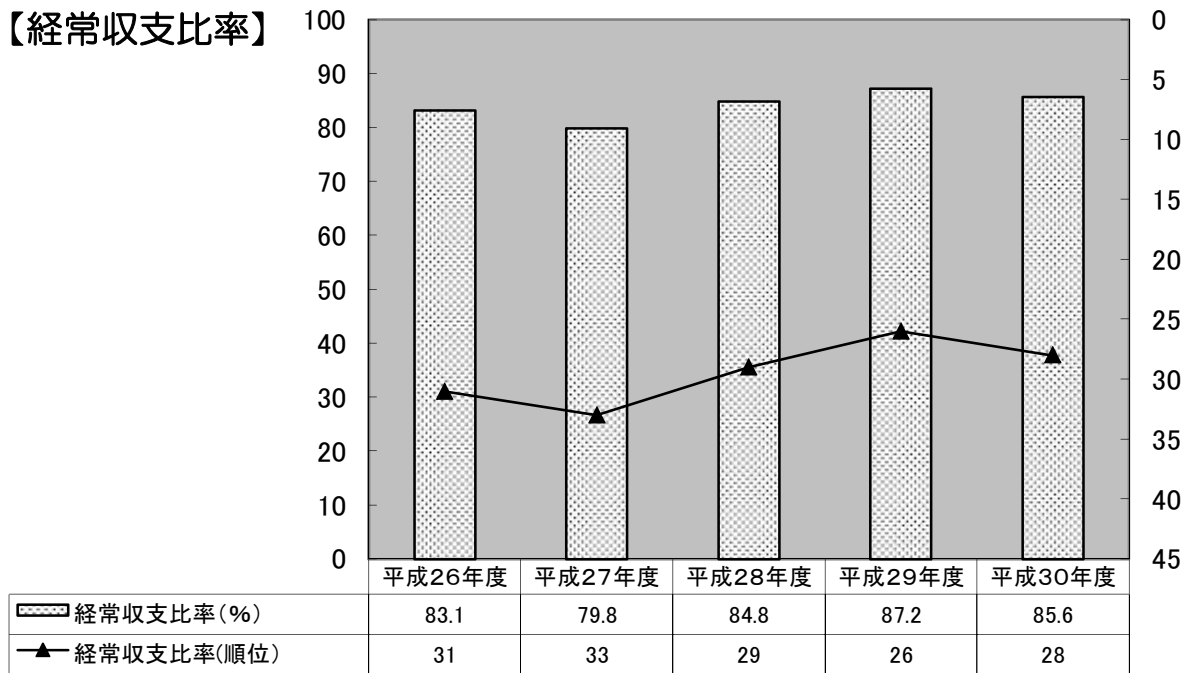
○財政状況の比較

【財政力指数】



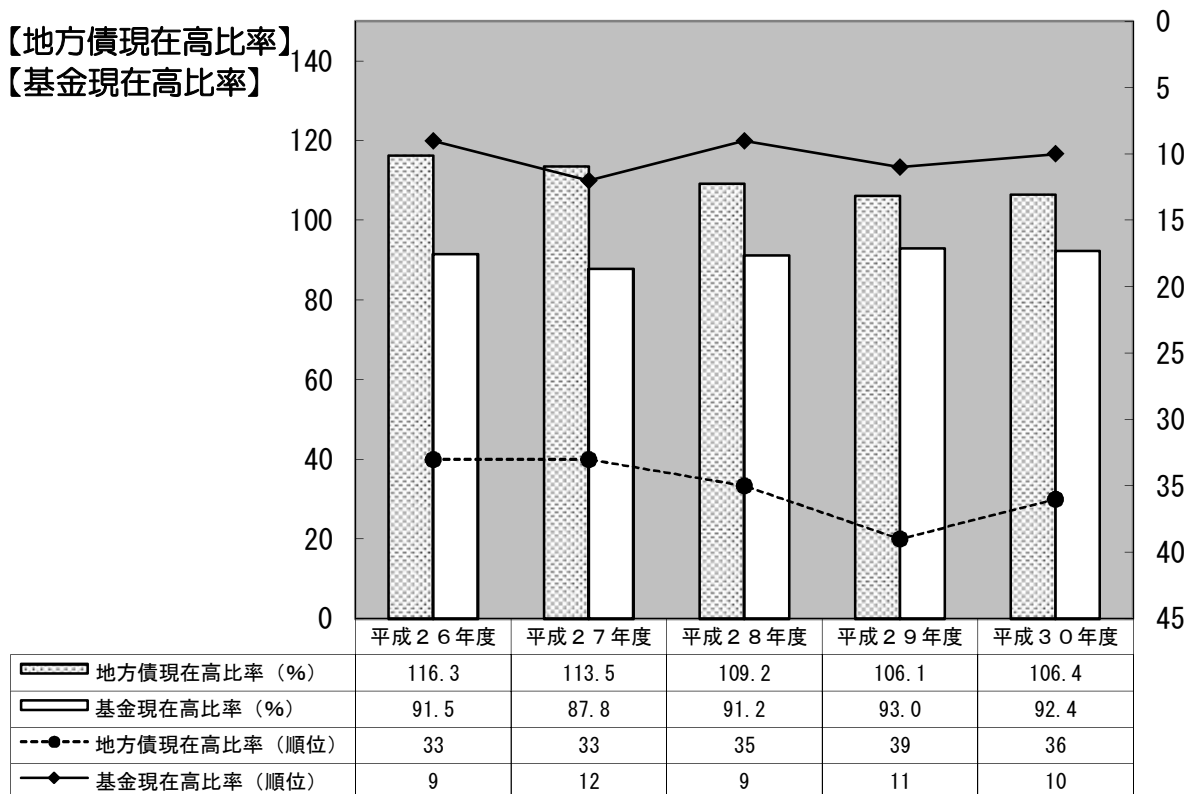
【分析】近年、緩やかに低下傾向にありましたが、平成30年度は、繰上償還の実施による公債費の減も寄与し、0.02上昇しています。いずれの年度も県内平均値は大きく上回っています。

【経常収支比率】



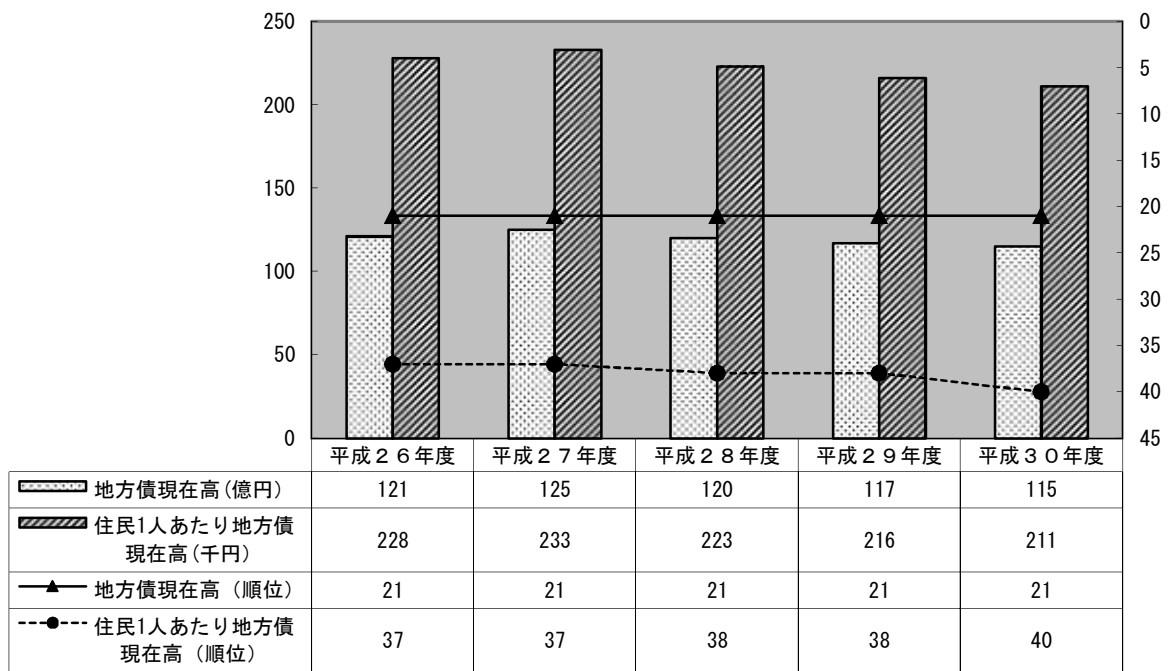
【分析】 社会保障費関連の扶助費や物件費の増嵩により上昇傾向にありますが、繰上償還による公債費の減少も寄与し、前年度比で1.6ポイント減少しました。

【地方債現在高比率】
【基金現在高比率】



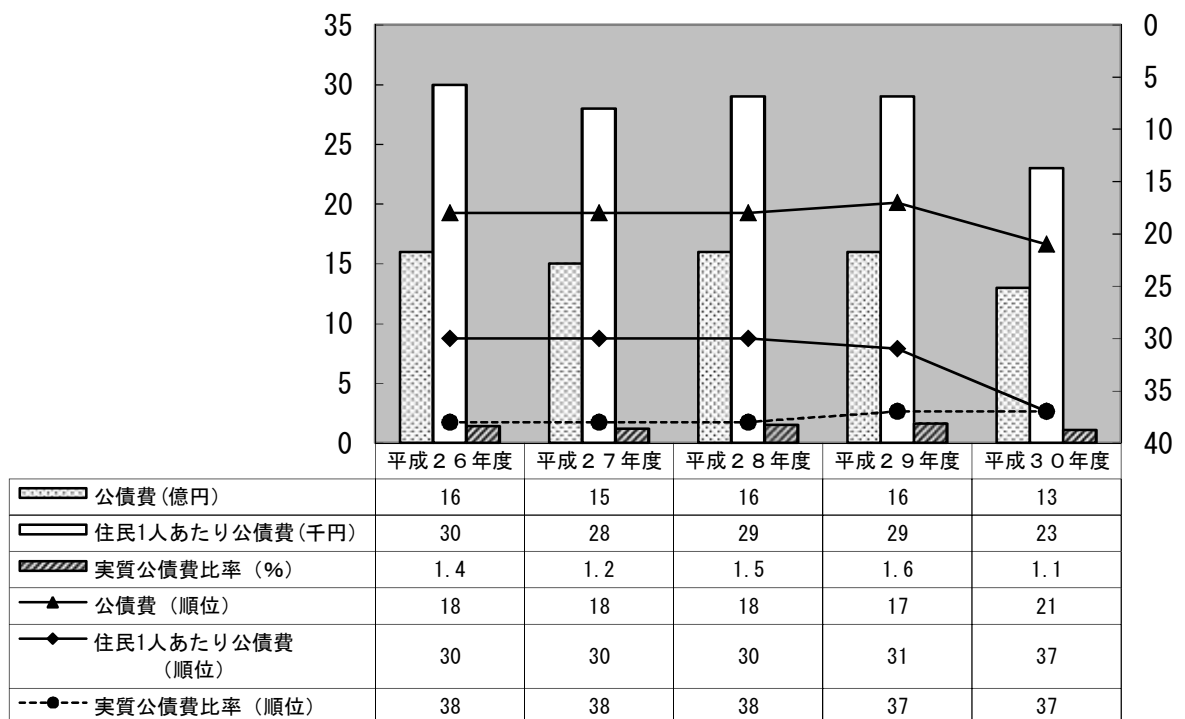
【分析】 地方債についてはここ数年繰上償還を実施しているため、残高は減っています。基金については、ふるさと応援基金、庁舎建設基金へ積み立てた一方で、財政調整基金、公共施設整備基金の取り崩しにより全体では減少しています。

○地方債における比較



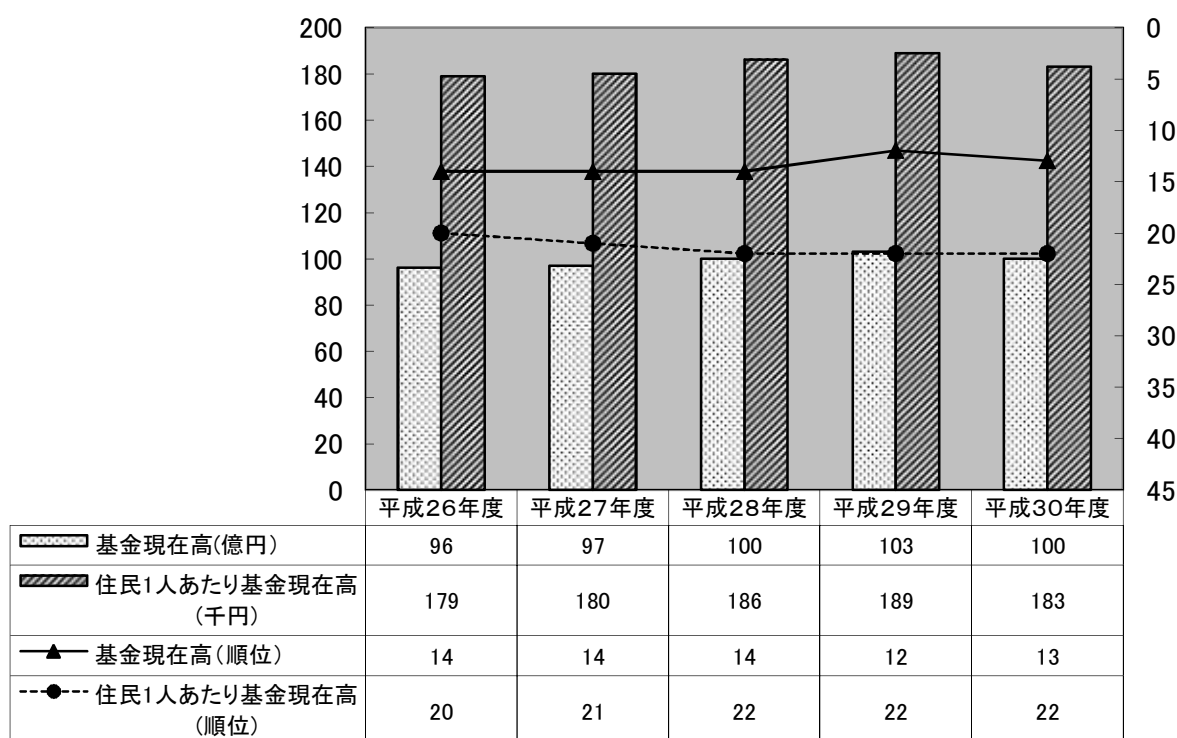
【分析】平成27年度は学校施設の大規模改修事業に伴う起債（借金）により増加しましたが、平成28年度以降は繰上償還により償還額が起債額を上回ったため、残高は減少しています。

○公債費における比較



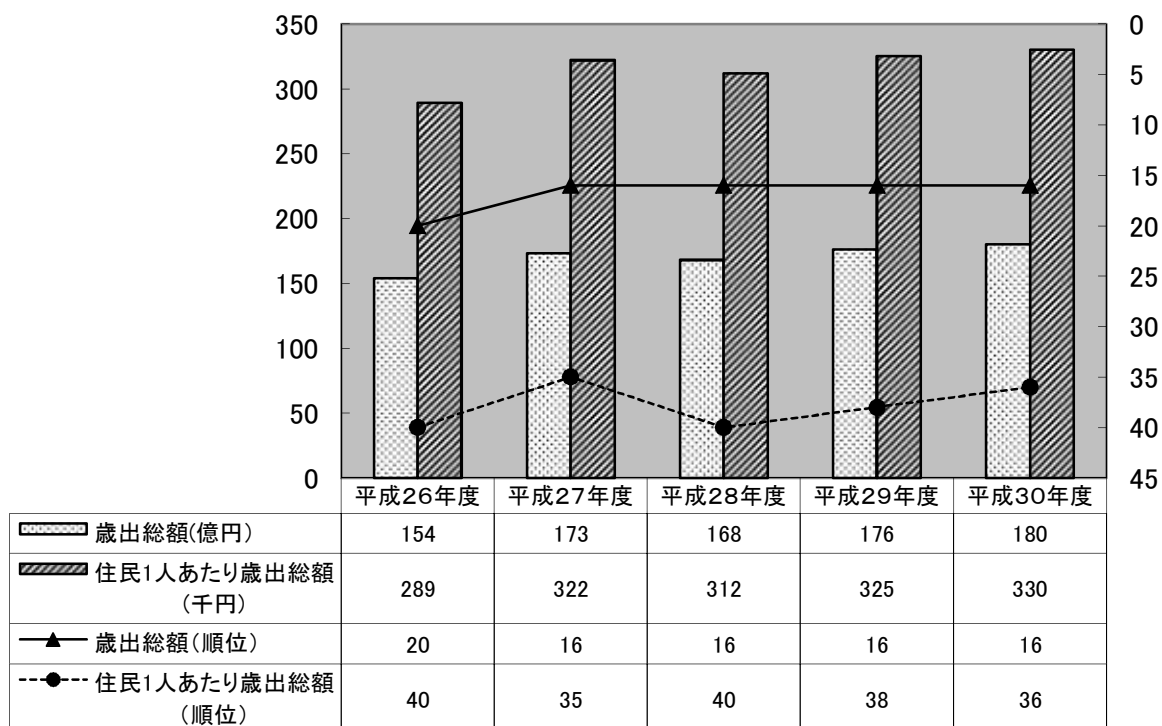
【分析】通常償還完了や毎年の繰上償還の実施により、公債費が抑えられていることから、実質公債費比率は良好な水準を維持しています。

○基金における比較



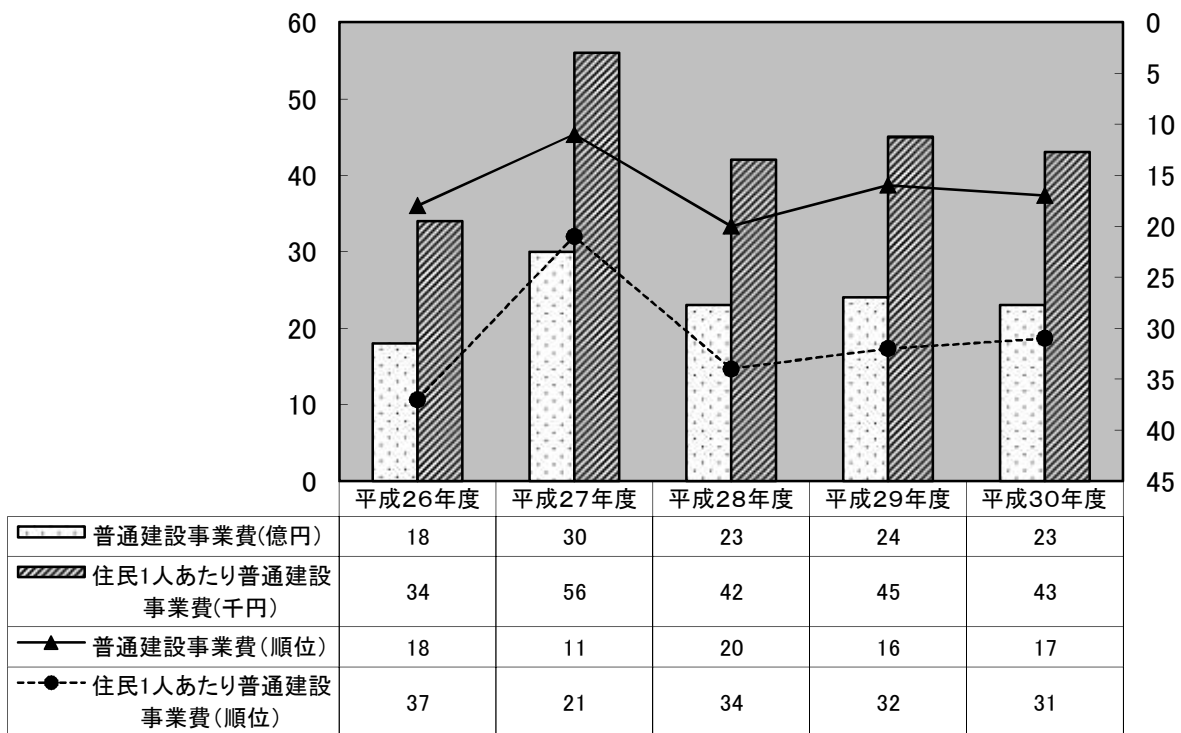
【分析】 増加傾向にあった基金残高ですが、平成30年度は減少しました。ふるさと応援基金、庁舎建設基金を積み立てた一方で、財政調整基金、公共施設整備基金の取り崩しが上回ったため、全体で減少しています。

○歳出総額における比較

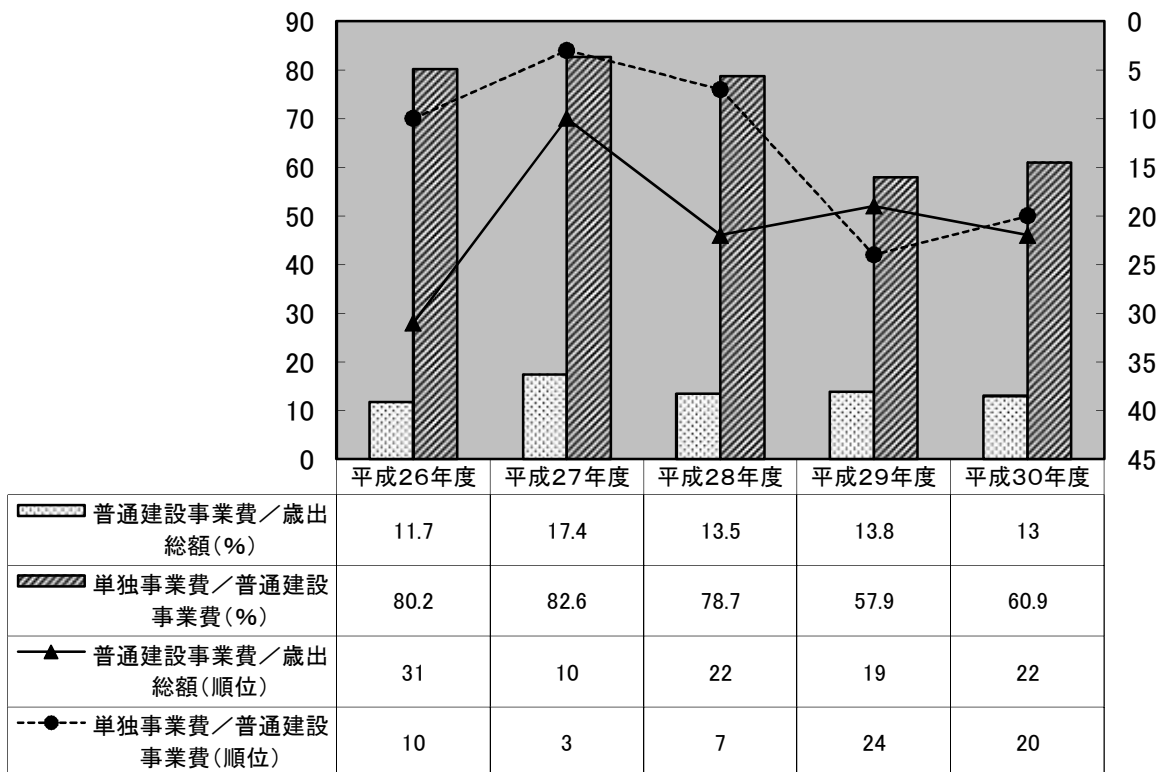


【分析】 歳出総額は増加傾向にあります。平成27年度は学校施設の大規模改修と教室空調機器整備事業、平成29年度は南、本田小学校の大規模改修事業（繰越事業）、平成30年度は牛牧排水機場改修事業により増加しました。

○普通建設事業費における比較

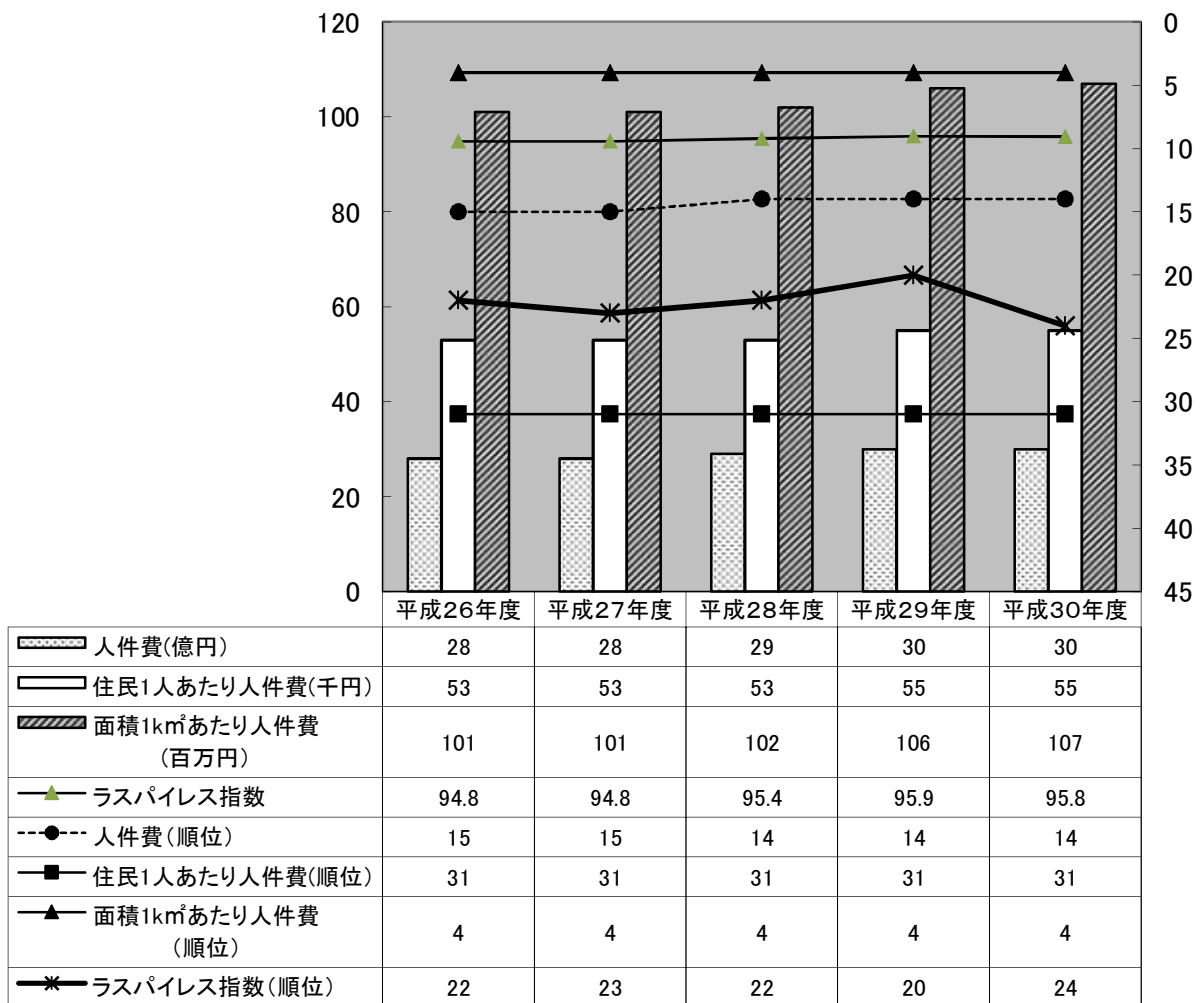


【分析】普通建設事業費は平成19年度の40億円をピークに減少傾向にありましたが、平成27年度は学校施設の大規模改修と教室空調機器整備事業により大きく増加しました。近年は、牛牧排水機場改修事業、(仮称)柳一色歩道橋整備事業、(仮称)中山道大月多目的広場整備事業が事業規模の大きなものです。



【分析】普通建設事業費に占める単独事業費の割合は、平成29年度で大きく減少しているのは、中学校教室空調機器整備工事などの単独事業が完了したことによります。平成30年度は、牛牧排水機場改修事業や穂積中学校テニスコート造成工事などの単独事業費により増加しています。

○人件費における比較



【分析】人件費は職員給の増加により年々増加しています。ラスパイルズ指数は横ばいですが、県内平均を下回る状態が続いています。